

関係市町・観光関係者に対する調査結果

■調査概要

調査目的	<ul style="list-style-type: none"> 関係市町のにぎわい創出施設の整備に向けた意向等の確認により、今後のにぎわい創出施設整備の方向性を検討するため（主に来訪者向け施設の内容） 事業スキームの検討を実施するために必要となる具体的な施設内容と定量的な規模を想定するための基礎データを作成するため
------	---

(1)関係市町に対する調査

調査方法	ヒアリング調査
調査対象	<ul style="list-style-type: none"> 中津川市：商工観光部観光課、リニア都市政策部リニア駅周辺整備課、中津川観光協会 恵那市：経済部観光交流課、基盤整備部リニアまちづくりチーム、恵那市観光協会

(2)観光関係者に対する調査

調査方法	メールによる調査
調査対象	<ul style="list-style-type: none"> リニア岐阜県駅の観光圏域と考えられる長野県木曾地域自治体[南木曾町、大桑町、上松町、木曾町、王滝村、木祖村、塩尻市]の観光部局 「東美濃ふるさと街道協議会」および「いにしえ街道協議会」の観光関係者 県内 40 市町村(中津川市と恵那市を除く県内全市町村)の観光部局及び観光協会

(1)関係市町に対するヒアリング結果

	中津川市	恵那市
にぎわい施設の位置づけ・活用意向	<ul style="list-style-type: none"> 県内の魅力を国内外の旅行者にPR 県主体の運営で市町が情報提供 地域と来訪者の交流の場 	<ul style="list-style-type: none"> 岐阜県のPR 特に東濃地域のPR 次の観光動線を案内できる場所 維持管理も含め、コンパクトな施設
観光振興に必要な機能	<ul style="list-style-type: none"> 物産販売・観光案内(大きな施設は不要) 飲食施設・コンビニ 季節毎の体験施設 	<ul style="list-style-type: none"> 案内所、県のアンテナショップ 地域の人も使える多目的なスペース
必要な行政機能	<ul style="list-style-type: none"> 特になし 	<ul style="list-style-type: none"> 移住定住を紹介する窓口(職員常駐)
その他必要な機能	<ul style="list-style-type: none"> バス待合所 地元住民が利用できるホール、会議室 	<ul style="list-style-type: none"> 市や地域の歴史を紹介する
にぎわい施設の機能導入の留意点	<ul style="list-style-type: none"> 中心市街地への回遊を図る情報発信 広域的な利用を前提 	<ul style="list-style-type: none"> 特になし
観光特性	<ul style="list-style-type: none"> 馬籠～妻籠をハイクする欧米系が増加 ツアー立寄りが多い 	<ul style="list-style-type: none"> 中部圏が8割 東濃5市で関東圏にPRを進めている
今後の取り組み施策	<ul style="list-style-type: none"> 移住定住の施策 公共交通・二次交通 体験型観光 近隣市町村との連携 	<ul style="list-style-type: none"> リニアまちづくり構想に沿った施策 まちづくり会社を設立し、プラットフォームを構築 日本版DMO^{※1}

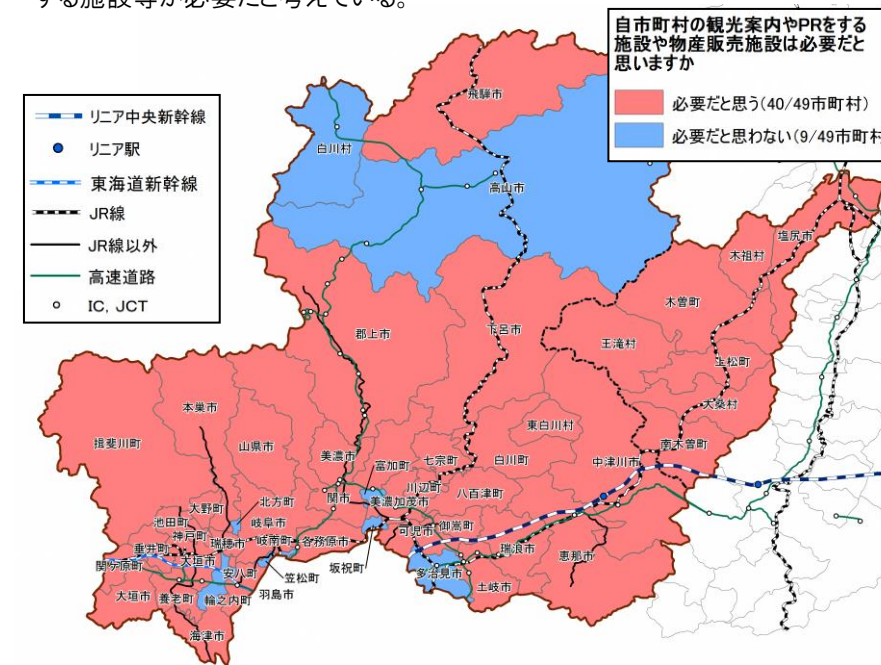
※1：地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりを実現するための戦略策定や事業実施等を行う法人

(2)観光関係者に対する調査結果

◆にぎわい創出施設に対する考え方(市町村)

問：にぎわい創出施設に対するお考えを教えてください。

- ・ほぼすべての市町村で、にぎわい創出施設に自市町村の観光案内やPRをする施設等が必要だと考えている。
- ・長野県内の市町村においても、自市町村の観光案内やPRをする施設等が必要だと考えている。



■岐阜県内・長野県内(一部)の市町村

■協議会出席

岐阜県観光連盟	必要だと思う
明知鉄道株式会社	必要だと思う
木曾観光連盟	必要だと思う

※木曾観光連盟は、各団体別には必要ないが、観光圏域単位としては必要であると認識している。

■市町村観光部局および観光協会

飛騨乗鞍観光協会	必要だと思う
美濃市観光協会	必要だと思う
(一社)恵那市観光協会	必要だと思う
金山町観光協会	必要だと思う
白川町観光協会	必要だと思う

◆岐阜県をPRするために望ましいコンテンツと提供方法

問：にぎわい創出施設にて来訪者に「岐阜県」をPRするためには、どのようなコンテンツと提供方法が望ましいと考えられますか。

- ・周囲の自然、景観と調和のとれた施設デザイン・テラス
- ・Wi-Fi 環境
- ・外国人向けの翻訳コンテンツ
- ・「食」をテーマにしたエリア
- ・県内の観光案内所を巡るスタンプラリー等の導入

◆観光や物産施設以外に必要な施設

問：観光や物産施設以外で、にぎわい創出施設にあるといいと感じる施設等があれば教えてください。

- ・地歌舞伎やイベント等を行う多目的ホール
- ・車両の一部展示などのJRと提携した体験施設
- ・山の緑と清流を感じられる場所
- ・中山道の歴史など、地域の歴史的背景を紹介する施設

○中津川市、恵那市のヒアリングに共通してコンパクトな施設を求める意見がある。また、機能として、中津川市からは、地域住民が利用するホール・会議室、恵那市からは移住定住窓口など公共施設の必要性も示されている。

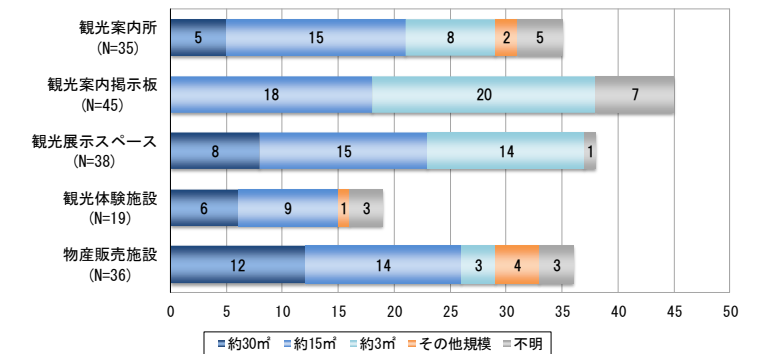
○県内の多くの自治体および長野県木曾地域のほとんどの自治体は、自市町村をPRする施設が必要と考えている。また、有料でも施設を整備したいと考える団体も一定程度みられた。岐阜県全域に加え長野県木曾地域をPRできる公共性の高い観光・物産施設が求められている。

◆必要と考える施設と規模感

問：必要と考えている「施設」を教えてください。

また、必要と考えている施設に対して「規模感」に対する意向を選択してください。

- ・観光案内所や案内掲示版など、観光関連のいずれの施設も必要と考えられている。
- ・施設規模は 30 m²～15 m²など比較的大きな規模を求める団体が半数程度を占めている。

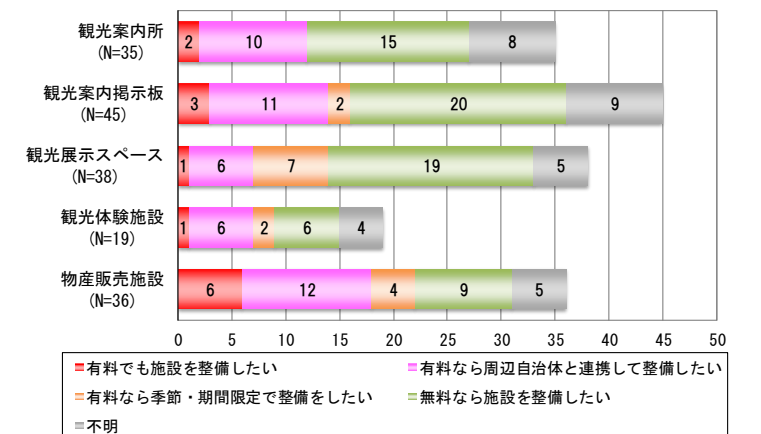


◆必要と考える施設と賃借料

問：必要と考えている「施設」を教えてください。

また、必要と考えている施設に対して「規模感」に対する意向を選択してください。

- ・「無料なら整備したい」が多くなっているが、「有料でも整備したい」や「有料なら周辺自治体と連携して整備したい」なども 25 団体程度が回答しており、有料での整備も考えられる。



◆整備にあたっての要望

問：にぎわい創出施設の整備にあたって、要望等があれば教えてください。

- ・岐阜県産の木材を活用した建物で、必要最小限の機能を設け、地域住民が気軽に立ち寄れる公園等があると良い。
- ・飛騨・高山等を含めた周辺観光地への公共交通によるアクセス強化とPRが必要である。
- ・季節・期間限定であれば、有料であっても周辺自治体と連携して対応ができると思う。